柏原市埋蔵文化財発掘調査概報

平成１５（２００３）年度

平成１６（２００４）年3月

柏原市教育委員会

はしがき

ここ数年、柏原市においては発掘調査の件数が減少しています。開発や工事により遺跡が失われるケースが少なくなったと言い換えることもでき、結果として保存が図られているのが現在の傾向です。一方では過去のデータを活用することをめざして、20年以上継続してきた調査により蓄えられた出土遺物、図面、写真等を再整理し、記録保存の名の下で消えていった遺跡の諸様相を再現する方策も試行しています。

さらに埋蔵文化財のみならず、文化財保護法で定義され謳われている多種多様な文化財全般の保護、活用にむけての具体的な方策も執らなければなりません。

今後もご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

平成16年３月

柏原市教育委員会
教育長　舟橋清光

例　　言

1、本書は柏原市教育委員会が平成15年度に国庫補助事業（総額1,000,000円、国補助率50%、市負担率50%）として計画し、社会教育課文化係が実施した柏原市内遺跡群緊急発掘調査概要報告書である。

2、調査は柏原市教育委員会社会教育課　桑野一幸、石田成年を担当者として、平成15年4月1日に着手し、平成16年3月31日に終了した。

3、本書には平成15年1月1日から同年12月31日までに着手した土木工事に伴う事前発掘調査のうち15件の概要とその他の調査の一覧を掲載した。なおこの期間内に文化財保護法第57条の2および3に基づく届出、通知がなされたものは291件、その中で発掘調査を実施したものは22件、さらにそのうち国庫補助事業として実施したものは15件である。

4、本書の編集、執筆とも桑野と石田がこれにあたった。

5、調査、整理の参加者は次のとおりである。(順不同、敬称略)

柳谷好子　北野公一　北野　重　寺川　款　分才隆司　柳川澄雄
阪口文子　乃一敏恵　橋口紀子　有江マスミ

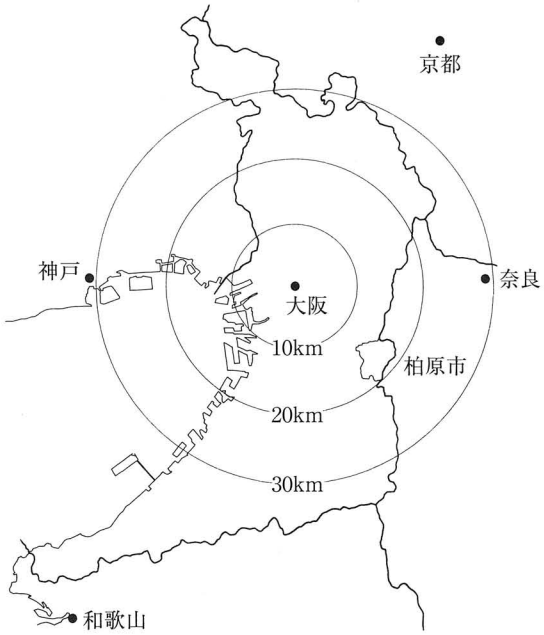
目　　次

平成15（2003）年　柏原市内遺跡群発掘調査一覧
第１章　平野遺跡…… 1
2003-１次調査 …… 2
2003-２次調査 …… 3
第２章　大県遺跡…… 4
2003-４次調査 …… 5
2003-１次調査 …… 8
第３章　大県南遺跡…… 9
2003-１次調査 …… 10
第４章　安堂遺跡…… 11
2003-３次調査 …… 12
2003-４次調査 …… 13
第５章　高井田遺跡…… 14
2003-１次調査 …… 15
第６章　田辺遺跡…… 16
2003-１次調査 …… 17
2003-２次調査 …… 17
第７章　玉手山遺跡…… 18
2003-１次調査 …… 19
2003-２次調査 …… 20
2003-３次調査 …… 21
2003-４次調査 …… 22
2003-５次調査 …… 23

平成15（2003）年　柏原市内遺跡群発掘調査一覧

遺跡名 対象地（柏原市・・・）	調査次数	調査面積 対象面積	申請者 用途	調査日 （自・至）	文書番号 担当者	備考
平野 平野2-499-1の一部	2003-01	1.00 87.07	前田建設 分譲住宅	H15.6.9 H15.6.9	151-18 桑野	
平野 平野2-18-46	2003-02	1.20 115.66	個人 個人住宅	H15.8.21 H15.8.21	151-24 石田	
大県 平野1-46-1の一部	2003-01	1.44 93.92	個人 個人住宅	H15.3.31 H15.3.31	151-7 石田	
大県 平野2-11-23	2003-02	1.60 316.24	個人 個人住宅	H15.4.11 H15.4.11	151-10 石田	
大県 平野2-1-5	2003-03	2.00 9,543.45	柏原市 学校設備	H15.8.18 H15.8.18	151-23 石田	
大県 平野2-380-1	2003-04	2.25 155.73	個人 個人住宅	H15.9.5 H15.9.5	151-20 桑野	
大県南 大県4-249-3他	2003-01	2.34 162.48	光洋商事 事務所付住宅	H15.2.6 H15.2.6	151-1 石田	
安堂 安堂町971-7の一部	2003-01	4.50 72.09	ティーモリタ 分譲住宅	H15.4.7 H15.4.7	151-11 桑野	重機提供
安堂 安堂町971-7の一部	2003-02	4.50 90.46	ティーモリタ 分譲住宅	H15.4.7 H15.4.7	151-12 桑野	重機提供
安堂 安堂町970他	2003-03	0.90 384.98	個人 個人住宅	H15.5.13 H15.5.13	151-13 石田	
安堂 安堂町262-21	2003-04	2.00 77.19	竹弘鉄建 分譲住宅	H15.9.19 H15.9.19	151-17 桑野	重機提供
太平寺 太平寺2-535-3他	2003-01	8.00 967.63	ライフ住建 宅地造成	H15.11.12 H15.11.12	151-21 桑野	重機提供
高井田 安堂町58-1他	2003-01	2.50 246.98	個人 個人住宅	H15.2.3 H15.2.3	151-6 石田	
平尾山古墳群 青谷1953-1他	2003-01	 4,800.00	八尾土木事務所 道路拡幅	H15.12.4	141-29 石田	調査中
田辺 田辺1-1085-2	2003-01	3.00 241.49	個人 個人住宅	H15.1.29 H15.1.29	141-31 石田	
田辺 国分本町6-678-3	2003-02	2.44 93.97	個人 個人住宅	H15.2.12 H15.2.12	151-2 石田	
田辺 田辺2-2104-14	2003-03	0.80 74.03	個人 個人住宅	H15.3.26 H15.3.26	151-8 石田	重機提供
田辺 田辺1-1015	2003-04	1.00 164.50	個人 個人住宅	H15.7.7 H15.7.7	151-19 石田	重機提供
明神山古墳群 田辺2-4472-1の一部	2003-01	43.20 2,255.87	来迎院 墓地造成	H15.10.6 H15.10.7	151-9 桑野	重機提供
玉手山 玉手町364他	2003-01	3.25 312.86	個人 個人住宅	H15.3.10 H15.3.10	151-5 石田	
玉手山 旭ヶ丘1-242-34の一部	2003-02	4.50 485.81	アズマホーム 宅地造成	H15.10.2 H15.10.2	151-22 桑野	
玉手山 玉手町145-13の一部	2003-03	6.00 261.86	たつごう住宅開発 宅地造成	H15.12.11 H15.12.11	151-26 桑野	
玉手山 玉手町145-13の一部	2003-04	5.00 217.26	たつごう住宅開発 宅地造成	H15.12.12 H15.12.12	151-27 桑野	
玉手山 片山町51-10	2003-05	2.30 390.76	乾 共同住宅	H15.12.16 H15.12.16	151-29 桑野	

（平成15年1月1日から12月31日までに実施した調査）



①平野遺跡
②大県遺跡
③大県南遺跡
④安堂遺跡
⑤高井田遺跡
⑥田辺遺跡
⑦玉手山遺跡

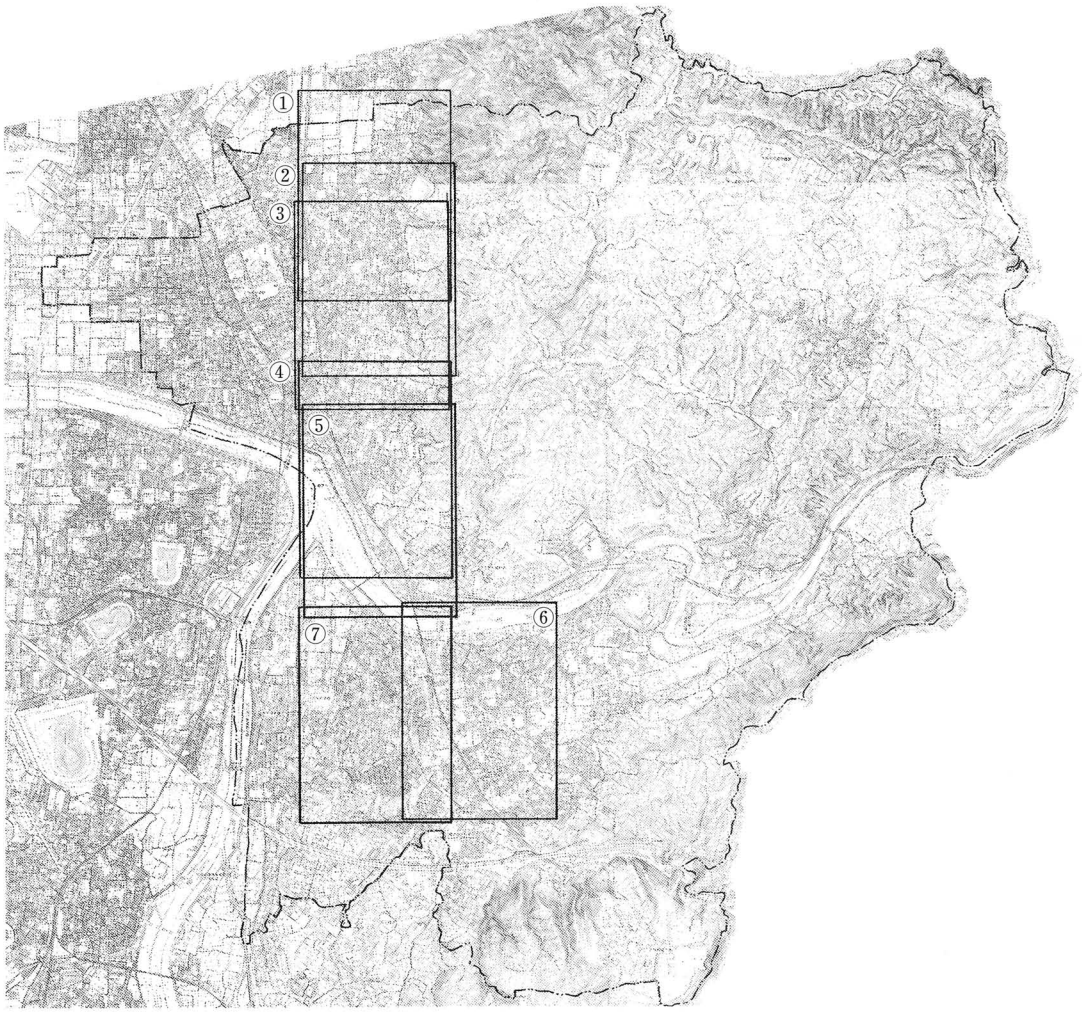


図１　柏原市位置図

第１章　平野遺跡

図２　調査地位置図

2003－１次調査

・調査対象地　　柏原市平野２-499-１の一部

・調査期間　　平成15（2003）年６月９日

・調査面積　　1.00㎡／87.07㎡

・調査担当者　　桑野一幸

調査地は平野遺跡のほぼ中央部にあたり、旧国道170号線（東高野街道）から30m程東に位置している。すぐ北側には関西電力堅下変電所があり、その建設時に行われた発掘調査では弥生～古墳時代を中心に多くの遺物が出土しており、それ以後も周辺地域で幾度か調査は行われているものの、層位や遺構の状況は明確ではない。

調査では、対象地南半に１×１mの調査区を設定し、地表下およそ1.2mまで掘削した。

地表下0.9～１mにあたる鉄分の小塊を混入した茶灰色砂質粘土層から土師器、須恵器の細片が僅かに出土した。なお地表下およそ50cmから湧水がみられた。

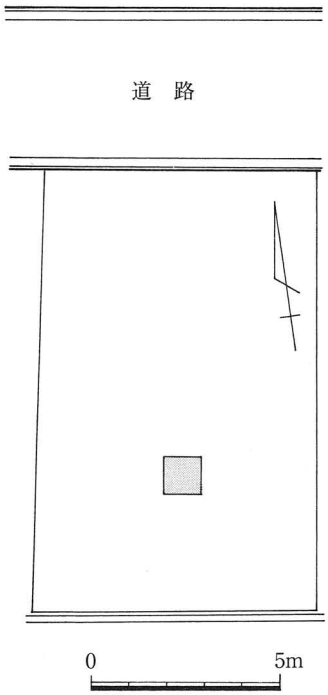


図３　調査区位置図

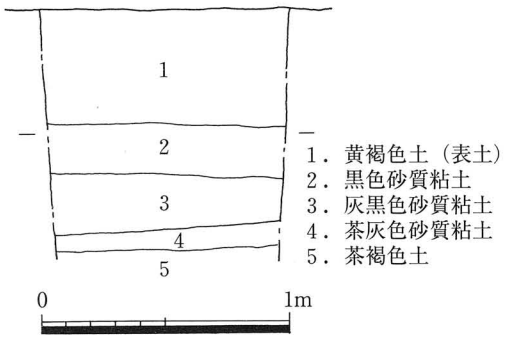


図４　北壁土層略図

2003－２次調査

・調査対象地　　柏原市平野２-18-46

・調査期間　　平成15（2003）年８月21日

・調査面積　　1.20㎡／115.66㎡

・調査担当者　　石田成年

対象地は平野遺跡のほぼ中央に位置する。現状は宅地である。

対象地の南西隅近くに東西1.2m、南北1.0mの調査区を設定し、人力により現地表下40cmまで掘削した。厚さ20cmの表土の下は地山であった。対象地は既に地形の改変を受けていると思われ、遺構・遺物ともに認められなかった。

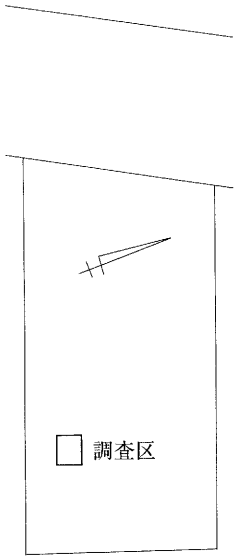


図５　調査区位置図
（Ｓ＝1/300）

第２章　大県遺跡

図６　調査地位置図

2003－4次調査

・調査対象地　　柏原市平野2-380-1

・調査期間　　平成15（2003）年9月5日

・調査面積　　2.25㎡／155.73㎡

・調査担当者　　桑野一幸

調査地は大県遺跡の北東端にあたり、旧国道170号線（東高野街道）の東およそ160mに位置している。加えて奈良時代の正史『続日本紀』に記載され、孝謙天皇の行幸で知られる河内六寺の一つ＝三宅寺（平野廃寺）の推定地東端にもあたり、調査地の東隣には式内社の若倭彦神社が鎮座している。なお調査地の周辺では、古くは縄文早期の押型文土器から始まり、弥生、古墳、飛鳥・奈良など各時代の遺物が検出されているが、遺構の状況は明確にはなっていない。

地形的にみると、この場所は生駒山地西麓を北流する恩智川の上流に注ぐ谷山渓が形成した小扇状地の扇央部にあたる。流路は現在では扇状地北辺に固定されているが、昭和10年9月には上流の大池が決壊して死者も出ているように、有史以後も度々洪水をおこし、流路も転位を繰り返したものと思われる。おそらくこうした自然地理的状況が、遺構が遺存しにくい、或いは発見しにくいという地域の現状に関与しているのだろう。

なお今回の調査は個人住宅の建て替えに伴い実施したものであるが、以前は昭和7～8年に建てられた民家があり、それ以前は葡萄畑だったという。さらに、明治時代には隣接する若倭彦神社の境内は広大なものだったと伝えられ、明治以前は調査地も境内地に含まれていたかもしれない。

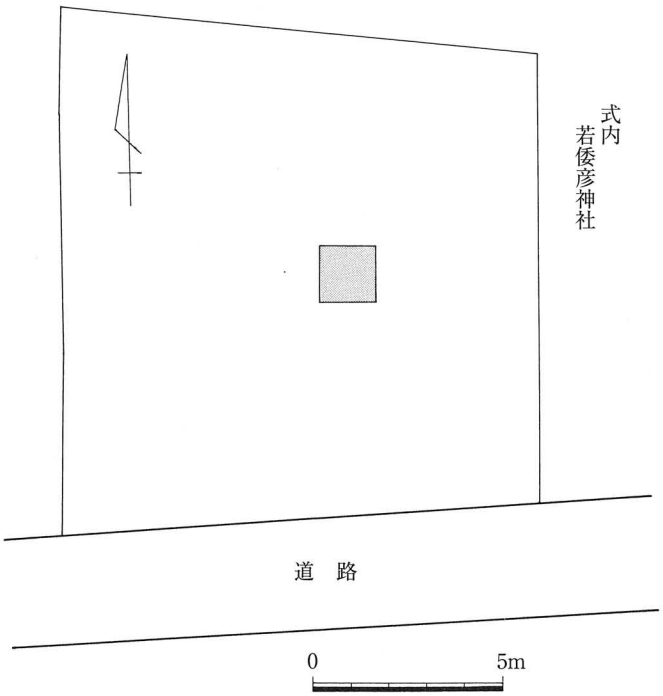


図7　調査区位置図

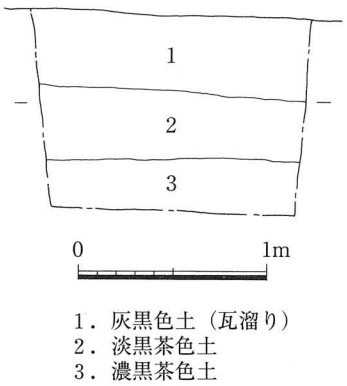


図8　南壁土層略図

ただし現状では、調査地は神社よりも２m以上低くなっている。

調査では、対象地のほぼ中央に1.5m四方の調査区を設定し、地表下およそ１mまで人力で掘削した。その結果、表土層から須恵器の瓶子片、陶磁器片とともに多量の瓦片が出土した。ただし、この表土層は調査地にあった民家の基礎が築かれていた土層であり、近・現代の整地層と思われる。また、この瓦溜まりはほぼ調査区の周辺のみで、広範囲に及んではいなかった。表土層より下位は花崗岩の小塊を含む地層で、下層になるほど大きな岩塊を含んでいた。なお、これらの地層では遺物、遺構は認められなかった。

次に表土中の瓦溜まりから出土した遺物を紹介する。軒平瓦（１）は１点のみで、幅３cm程の瓦当面に鋸歯状の文様がみられる。全体にナデ調整されるが凹面の一部に僅かに布目が遺る。

平瓦片は39点みられる。いずれも小片で全形を復元できるものはみられない。（２）は凹面に布目＋糸切痕、凸面に粗い縄目（２本／cm）がみられ、比較的分厚い。色調も、平瓦と丸瓦全体の中で唯一茶色系を呈している。（３）は凹面に布目、凸面に粗い縄目（２本／cm）がみられ、凹面側辺部では粘土が巻き込まれたようになっている。（４）は凹面に糸切痕、

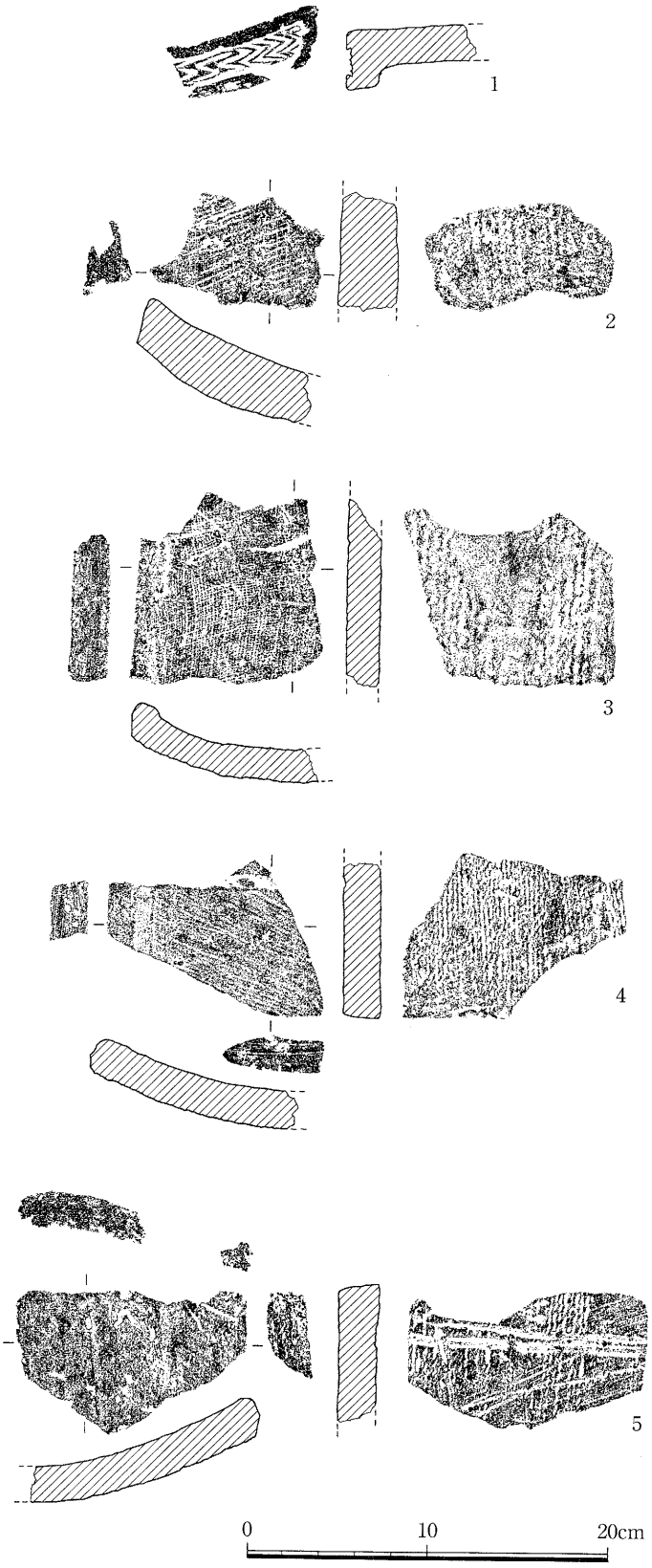


図９　軒平瓦、平瓦

凸面に細かい縄目（４本／cm）がみられ、凹面で側辺に沿って１条のナデ調整痕がみられる。（５）の凹面は縦方向にナデ調整され、凸面に細かい縄目（４本／cm）がみられる。これら以外では、凸面に糸切痕を遺すもの、全面ナデ調整されたものなどがあり、後者が全体の半数を占めている。凸面に離れ砂を留めるものも多い。

丸瓦片は44点あり、平瓦と同じく全形を復元できるものはない。（６）は凸面に細かい縄目（４本／cm）、凹面に布目と絞り目がみられる。筒部の幅は端部で15cm、玉縁の長さは５.６cmを測る。（７）も（６）と同様の調整痕が遺るが、玉縁長は4.2cmとやや短い。玉縁の長さについては、他に3.0cmや4.6cmのものがある。特に前者は形態的にも特徴があり、筒部と玉縁との取り付きが明瞭な段をなしていない。（８）は丸瓦の先端部で、凸面は丁寧に縦方向にナデ調整され、凹面には糸切り痕が遺る。凹面の先端部と側辺部は大きくヘラ削りされて薄くなっている。

瓦溜まりからは、瓦の他にも若干の土器片が出土している。（９）は須恵器瓶子の底部片。灰白色を呈し、内底面には灰かぶりがみられる。高台の径は5.5cmに復元される。(10) は青磁碗の口縁部片。口径14.8cmに復元される。内外面ともに細かく貫入が入り、外面に

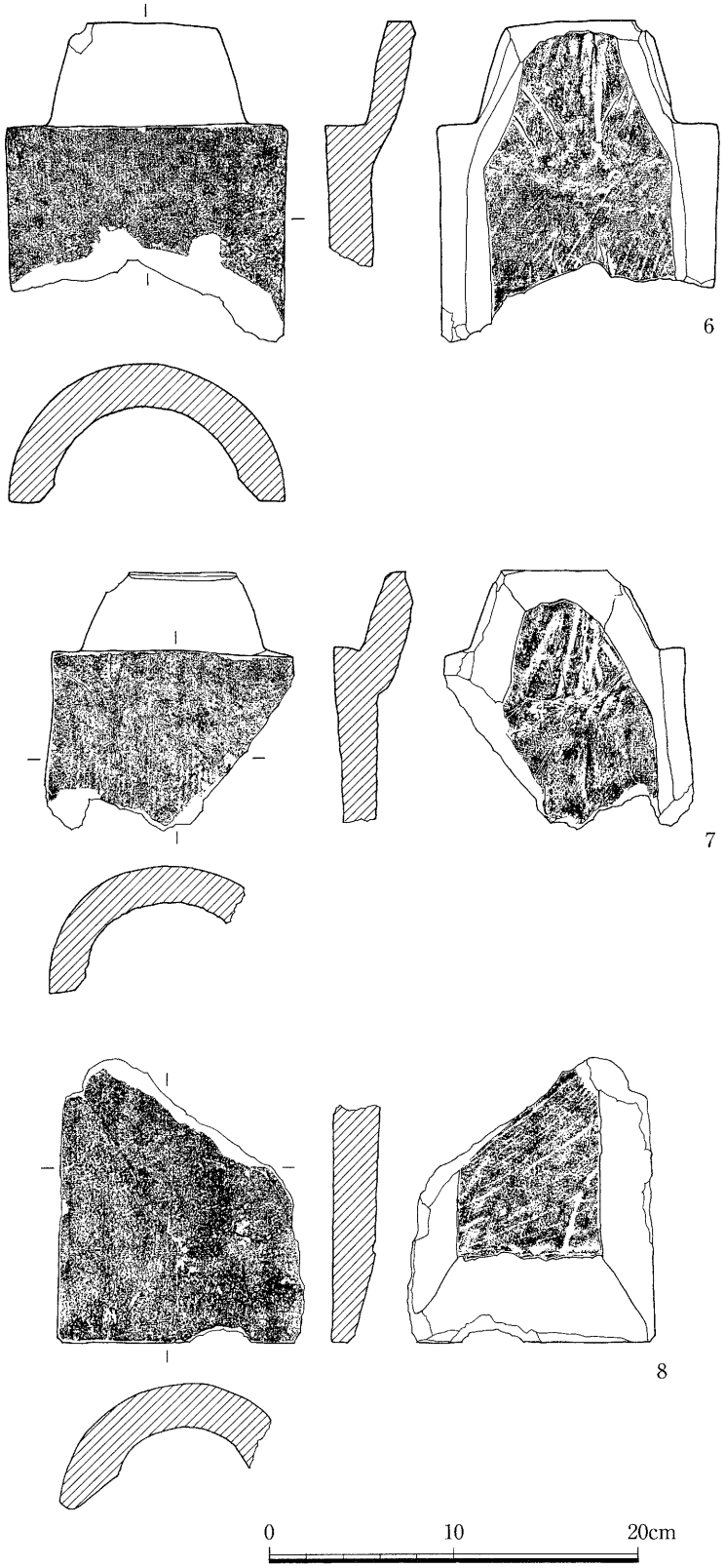


図10　丸瓦

は簡略化された鎬目蓮弁文で飾られている。

今回出土した瓦は、年代的には中世に属するものと考えられる。調査地の西半は、奈良時代の建立が推定されている平野廃寺の一郭に相当し、当然これらの瓦も平野廃寺との関わりが問題となる。しかし出土資料の中に古代に遡る瓦が含まれていないことからみると、むしろ調査地の東側に鎮座する若倭彦神社と関連するものかもしれない。式内社とされる若倭彦神社は、その歴史が地域の開発と密接に係わっていると考えられるだけに、その故地や現在地で奉祀されるようになった時期などについて、東山山地から流下する谷山渓の流路が固定される経緯や出土資料などを検討しながら、今後とも注目していきたいと思う。

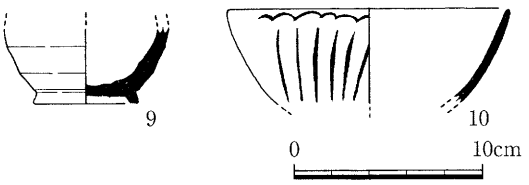


図11　須恵器、青磁

2003－1次調査

・調査対象地　　柏原市平野1-46-1の一部
・調査期間　　平成15（2003）年3月31日
・調査面積　　1.44㎡／93.92㎡
・調査担当者　　石田成年

対象地は大県遺跡の中央東寄りに位置する。現状は宅地である。

対象地の中央に一辺1.2mの調査区を設定し、人力により現地表下50cmまで掘削した。建物基礎の範囲は全て盛り土であった。遺構、遺物とも認められなかった。

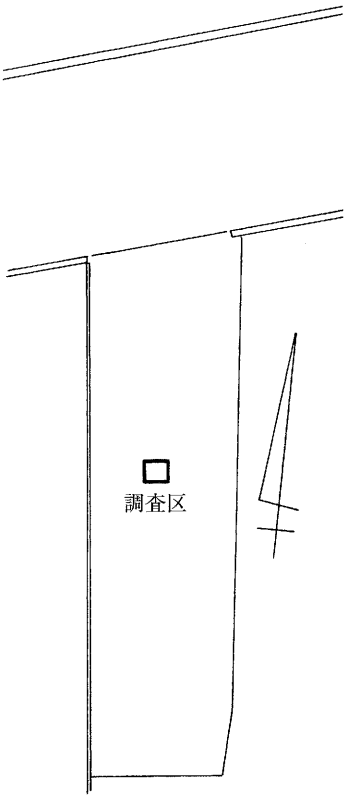


図12　調査区位置図
（S＝1/400）

第３章　大県南遺跡

図13　調査地位置図

2003－１次調査

・調査対象地　　柏原市大県４-249-３他

・調査期間　　平成15（2003）年２月６日

・調査面積　　2.34㎡／162.48㎡

・調査担当者　　石田成年

対象地は大県南遺跡の北寄りに位置する。現状は宅地で、すぐ西を旧国道170号線が南北に走る。

対象地のほぼ中央に東西1.3ｍ、南北1.8ｍの調査区を設定し、重機を併用しながら人力により現地表下100cmまで掘削した。70cmまでは硬くしまった盛土、以下は青灰色の粘質土であった。遺構、遺物とも認められなかった。

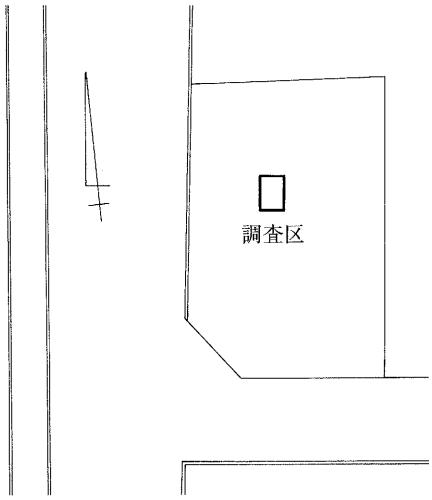


図14　調査区位置図（Ｓ＝1/400）

第４章　安堂遺跡

図15　調査地位置図

2003－３次調査

・調査対象地　　柏原市安堂町970他

・調査期間　　平成15（2003）年５月13日

・調査面積　　0.90㎡／384.98㎡

・調査担当者　　石田成年

対象地は安堂遺跡の北端に位置する。南北に長大な対象地であるが、木造二階建て住宅建築予定箇所である対象地の西辺南寄りに東西1.5m、南北0.6mの調査区を設定し、人力により現地表下50cmまで掘削した。表土の直下は全て盛り土であり、基礎掘削深度では遺構面に達しない。遺構、遺物とも認められなかった。

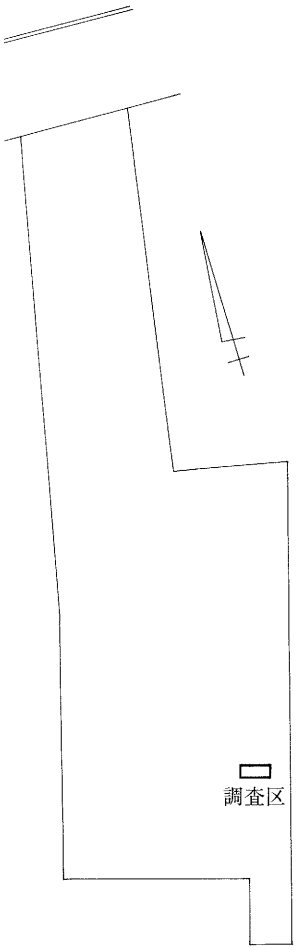


図16　調査区位置図
（S＝1/400）

2003－４次調査

・調査対象地　　柏原市安堂町262-21

・調査期間　　平成15（2003）年９月19日

・調査面積　　2.00㎡／77.19㎡

・調査担当者　　桑野一幸

調査地は安堂遺跡の南西部に位置する狭小な低平地である。西側はおよそ30mで近鉄大阪線が通じ、さらにＪＲ大和路線、大和川の右岸堤防、大和川なども近い。一方、東側には平尾山古墳群安堂支群の営まれた丘陵の末端が迫っている。調査地周辺は、地形的にみると大和川が氾濫した場合にはその溢水によって冠水しそうな土地であるが、過去の出土遺物などからすると、弥生時代以来開発が進み、飛鳥時代には寺院も建立されるなど、早くから開けた地域である。

調査は対象地西辺に接するように１×２ｍの調査区を設定し、重機の提供を受け、地表下1.7ｍまで掘削した。

現代の盛土と水田の床土が地表下1.1ｍまでみられ、その下の茶灰色土から若干の土師器細片が出土した。なお地表下1.6ｍ以下の灰茶色粘質土には小礫が比較的多く含まれていた。

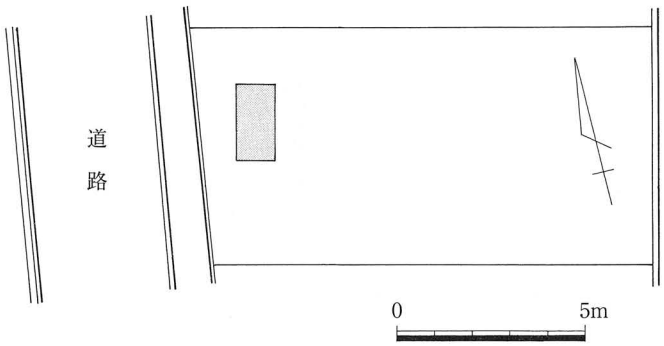
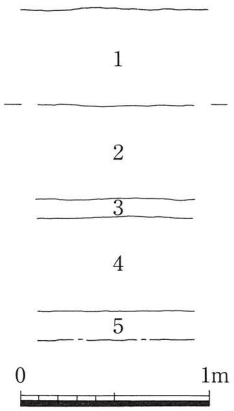


図17　調査区位置図



1．黄茶色土（盛土）
2．灰黒色粘質土
3．明茶色土（鉄分）
4．茶灰色土
5．灰茶色粘質土

図18　南壁土層略図

第５章　高井田遺跡

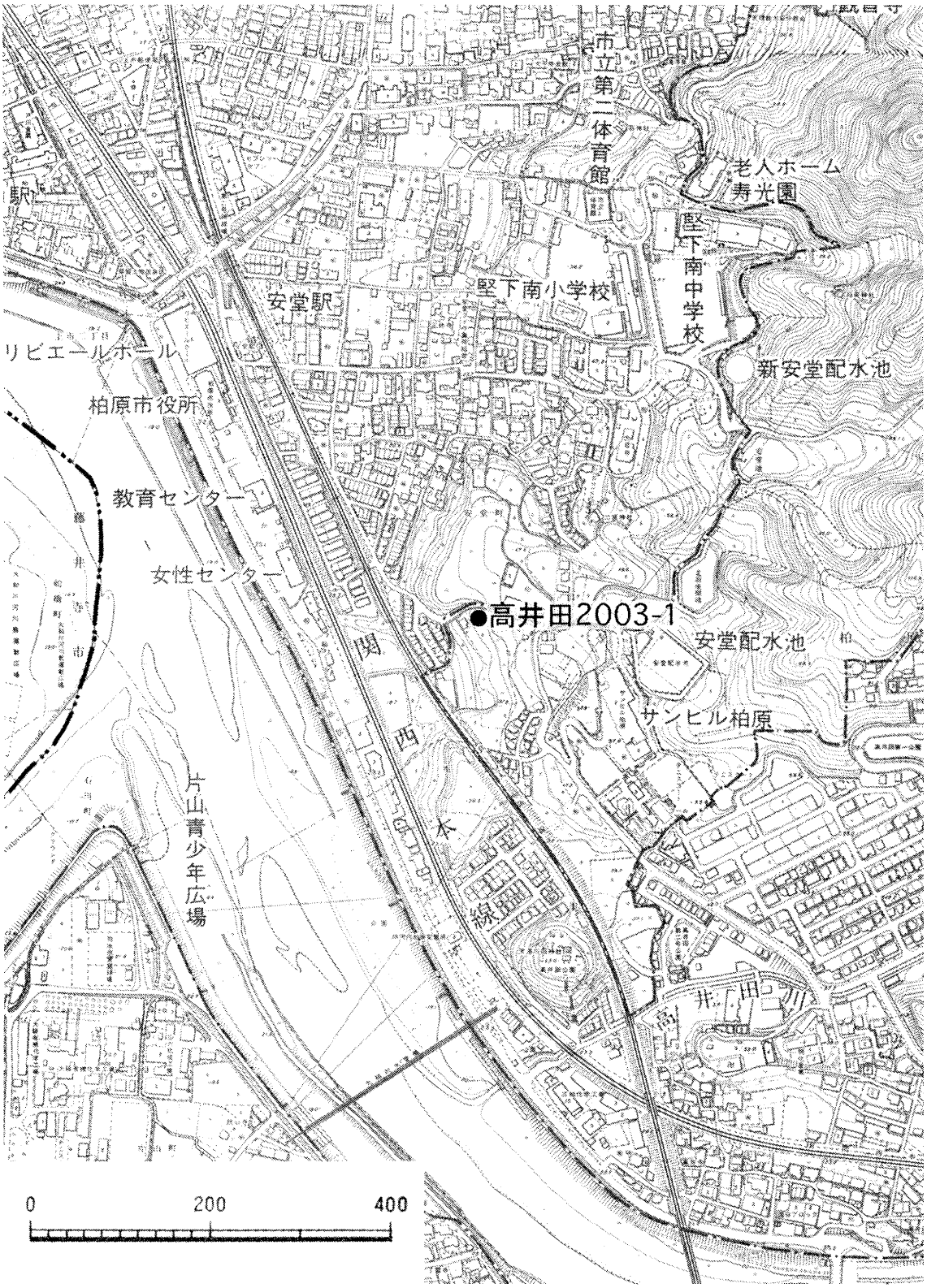


図19　調査地位置図

2003－1次調査

・調査対象地　　柏原市安堂町58-1

・調査期間　　平成15（2003）年2月3日

・調査面積　　2.50㎡／246.98㎡

・調査担当者　　石田成年

対象地は高井田遺跡の西北隅に位置する。浄化槽予定箇所である対象地の北端に東西1.0m、南北2.5mの調査区を設定し、人力により現地表下120cmまで掘削した。現地表下70cmより下層で土器片を含む灰色層を確認したが、遺構は認められなかった。後日、浄化槽工事時にも立ち会ったが、遺構、遺物とも認められなかった。

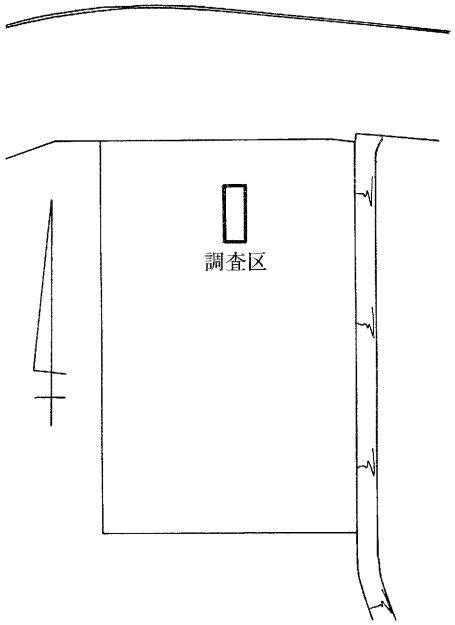


図20　調査区位置図（S＝1/400）

第６章　田辺遺跡

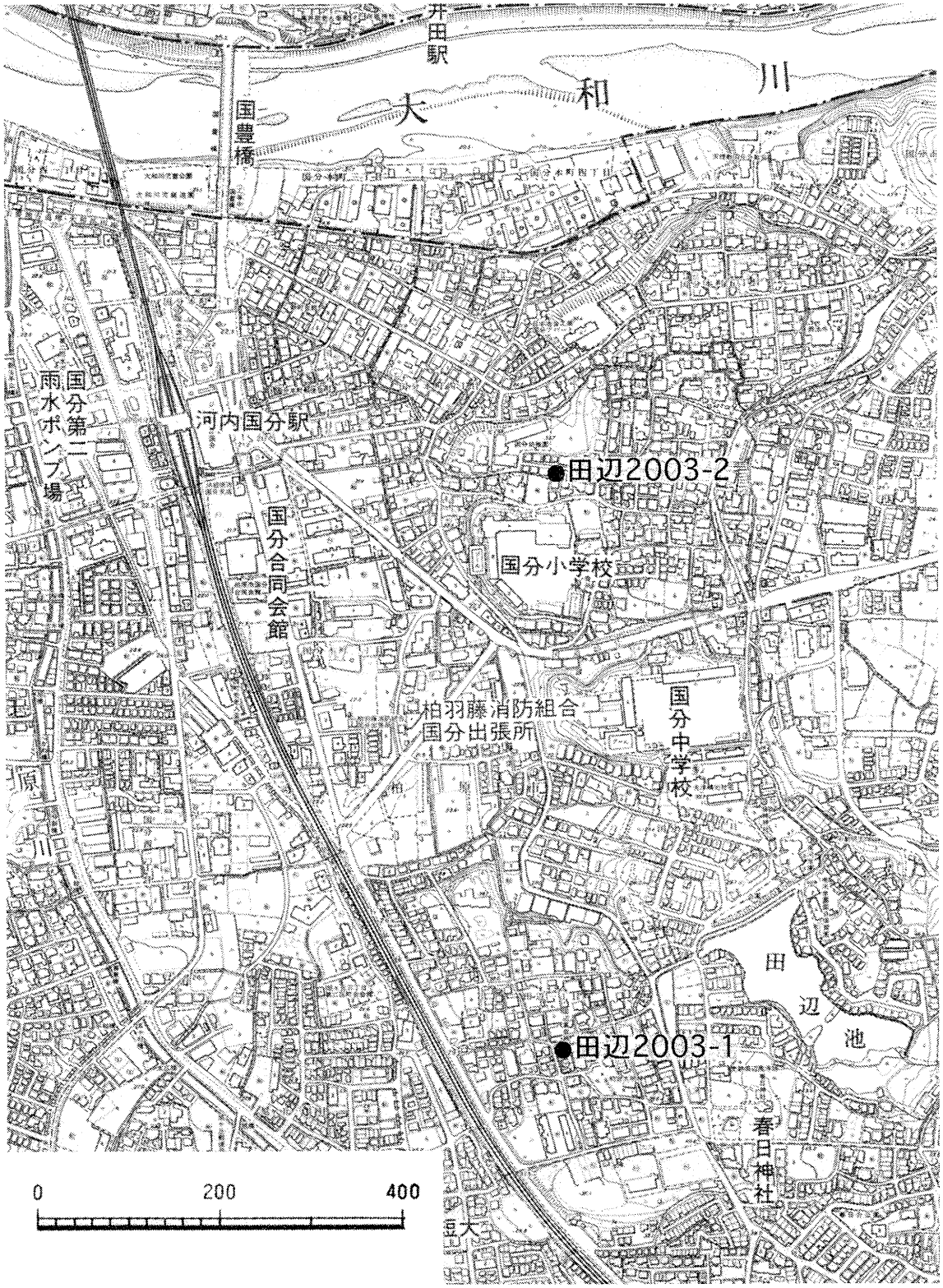


図21　調査地位置図

2003－１次調査

・調査対象地　　柏原市田辺１-1085-２

・調査期間　　平成15（2003）年１月29日

・調査面積　　3.00㎡／241.49㎡

・調査担当者　　石田成年

対象地は田辺遺跡のほぼ中央西よりに位置する。国史跡田辺廃寺が東南200ｍにある。

対象地の南辺に東西3.0ｍ、南北1.0ｍの調査区を設定し、人力により現地表下30cmまで掘削した。表土を除去すると地山が現れ、その状況から当地は既に削平等の改変を受けているものと判断された。遺構、遺物とも認められなかった。

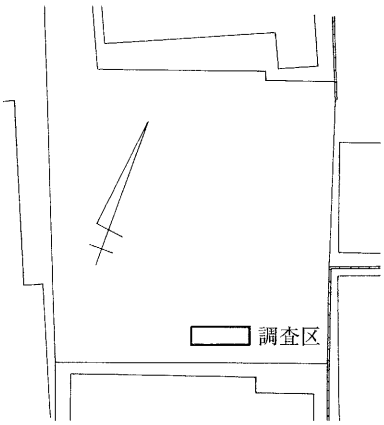


図22　調査区位置図
（Ｓ＝1/400）

2003－２次調査

・調査対象地　　柏原市国分本町６-678-３

・調査期間　　平成15（2003）年２月12日

・調査面積　　2.44㎡／93.97㎡

・調査担当者　　石田成年

対象地は田辺遺跡の北半に位置する。

対象地の中央に一辺1.2ｍの調査区を設定し、人力により現地表下30cmまで掘削した。すべて盛土でその状況から当地は既に削平等の改変を受けているものと判断された。遺構、遺物とも認められなかった。

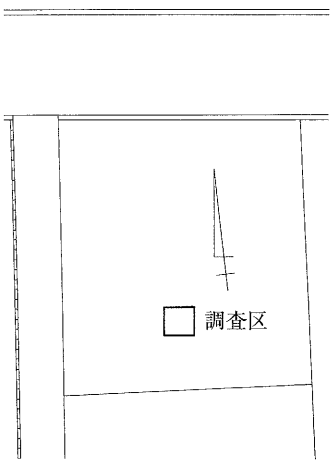


図23　調査区位置図
（Ｓ＝1/300）

第７章　玉手山遺跡

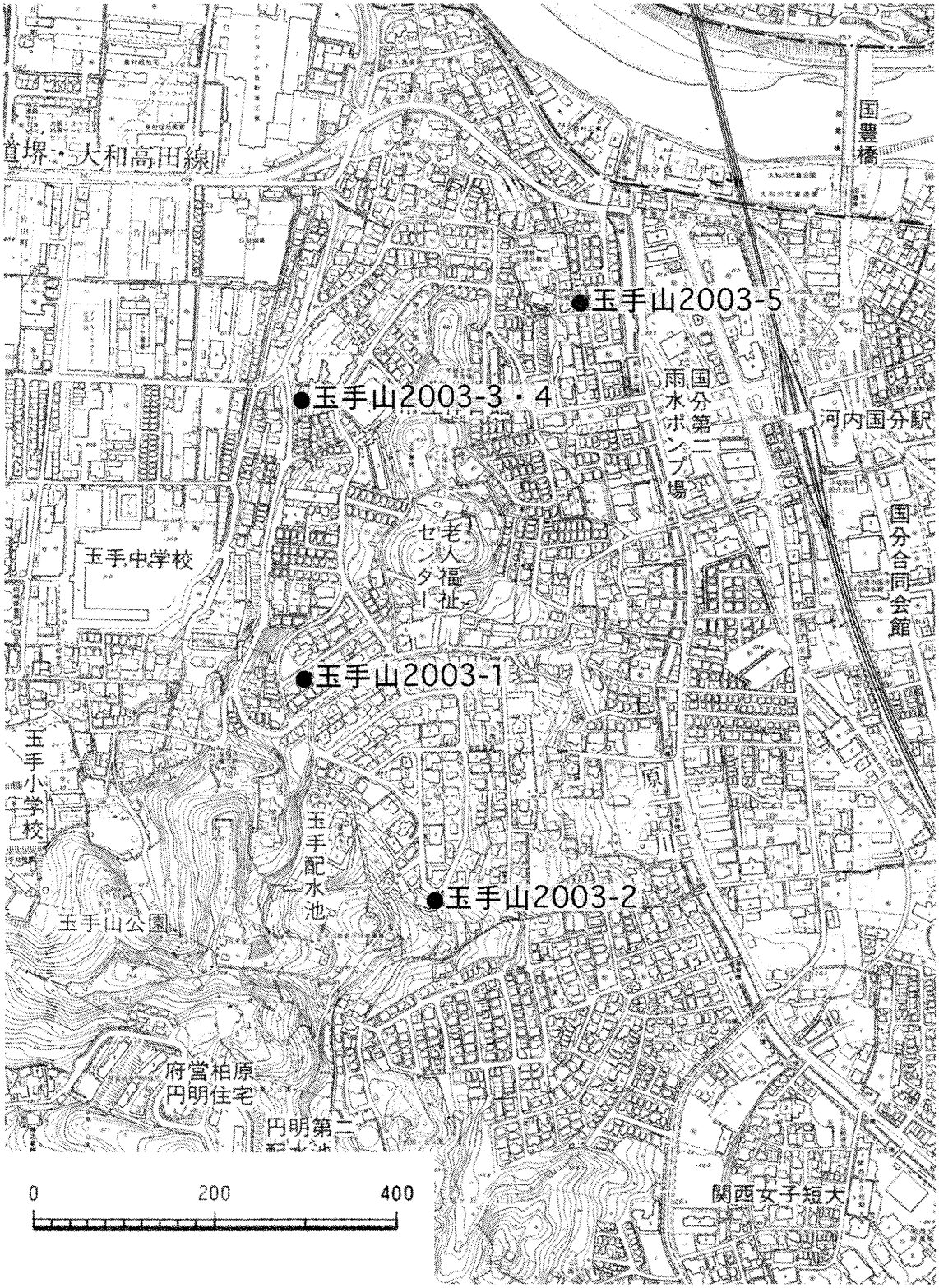


図24　調査地位置図

2003－1次調査

・調査対象地　　柏原市玉手町364他

・調査期間　　平成15（2003）年3月10日

・調査面積　　3.25㎡／312.86㎡

・調査担当者　　石田成年

対象地は玉手山遺跡の中央北寄りに位置する。現状は宅地であるが宅地となる以前には玉手山4号墳が存在したと想定される場所である。

対象地の東北隅（ガレージ部分）の東西3.0m、南北6.5mを人力により断面掘削した。掘削深度80cmのうち上半は盛土であり、下半は凝灰岩質砂岩層の地山であった。対象地は既に削平等の改変を受けており、遺構、遺物とも認められなかった。

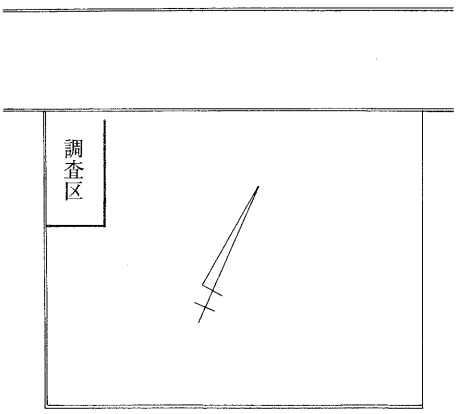


図25　調査区位置図（S＝1/400）

2003－２次調査

・調査対象地　　柏原市旭ヶ丘１-242-34の一部

・調査期間　　平成15（2003）年10月２日

・調査面積　　4.50㎡／485.81㎡

・調査担当者　　桑野一幸

調査地は古墳時代前期の古墳群で知られる玉手山丘陵にあり、前方後円墳の玉手山７号墳後円部から東に降る斜面に位置する。玉手山７号墳後円部頂部の標高は約101m、後円部端部の標高は約90m、調査地の標高はおよそ70～80mである。

既存の家屋によって２段に造成されており、上段（A区）、下段（B区）それぞれに1.5m四方の調査区を設定、掘削したが、いずれの調査区も全て盛土であり、遺物、遺構は認められなかった。

なお盛土中には風化の進んだ花崗岩や砂岩、粘土塊、拳大を超えるサヌカイト礫などが含まれており、花崗岩、凝灰岩、大阪層群といった周辺の地山を削り盛土したものと思われる。

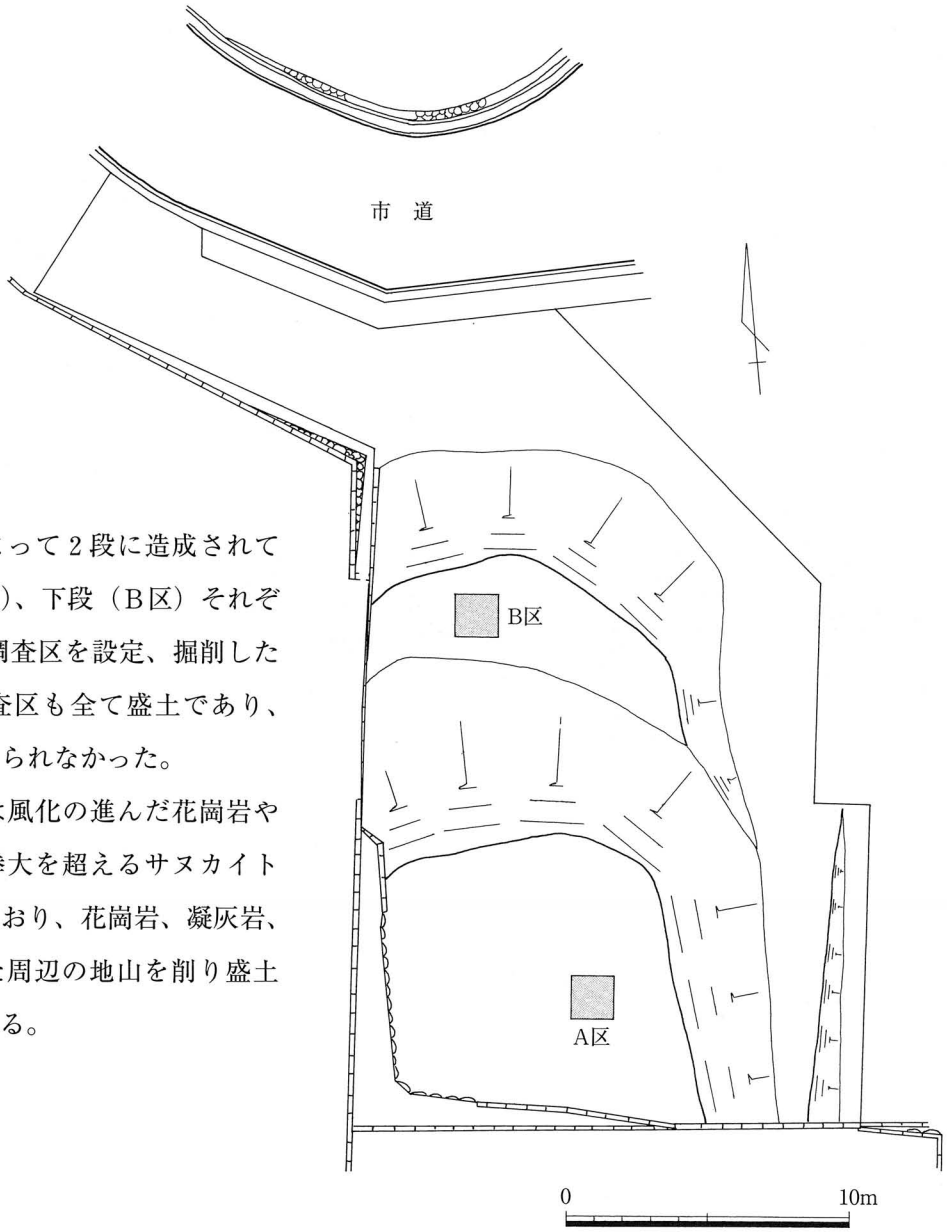


図26　調査区位置図

2003－３次調査

・調査対象地　　柏原市玉手町145-13の一部

・調査期間　　平成15（2003）年12月11日

・調査面積　　6.00㎡／261.86㎡

・調査担当者　　桑野一幸

調査地は玉手山丘陵の北部で、最高所の標高が70m程の玉手山１・２号墳から西に降る斜面にあり、標高はおよそ27～36mを測る。

調査では斜面下部に１ヶ所（A区／1.2×２m）、上部の北と南に２ヶ所（B区／1.2×1.5m、C区／1.2×2.5m）の調査区を設定し、A区は重機で、B・C区は人力で掘削した。

A区は表土下すぐに花崗岩などの岩盤であった。B区は深さ１m程掘削したが、全て葡萄畑の耕作土であった。C区は深さ30～40cmで風化した花崗岩や砂岩、くさり礫、粘土などを含む大阪層群と思われる地山になっていた。

いずれの調査区からも遺物、遺構は認められなかった。

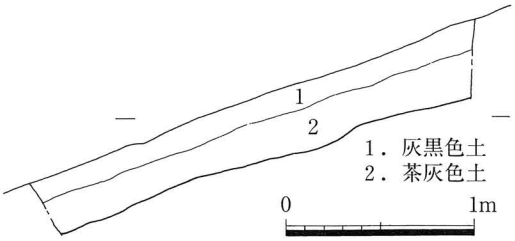


図27　C区北壁土層略図

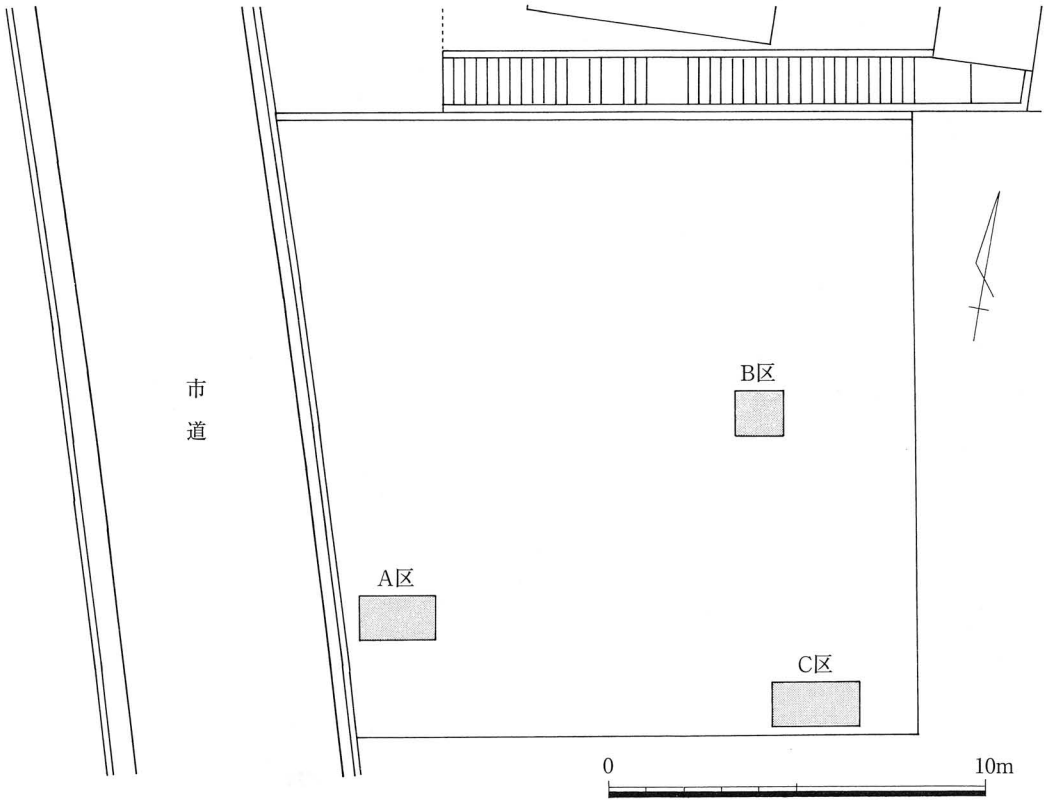


図28　調査区位置図

2003－４次調査

・調査対象地　　柏原市玉手町145-13の一部

・調査期間　　平成15（2003）年12月12日

・調査面積　　5.00㎡／217.26㎡

・調査担当者　　桑野一幸

調査地は2003-３次調査地の南側の斜面地である。市道に面する斜面下部にＡ区（1.2×２m）、斜面上部にＢ区（1.2×３m）の２ヶ所の調査区を設定し、Ａ区は重機で、Ｂ区は人力で掘削した。

Ａ区は2003-３次調査地Ａ区と同様に表土下すぐに岩盤になっていた。Ｂ区では地表下30～40cmで凝灰岩の地山になっていた。ただし根の撹乱土から須恵器杯蓋の小片（６世紀末葉）が１点出土した。

以上の調査状況と地形を勘案すると、調査地外のより上部の斜面地に古墳等の遺構が存在する可能性がある。

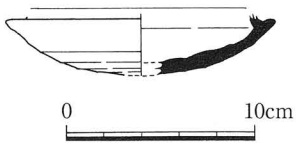


図29　須恵器

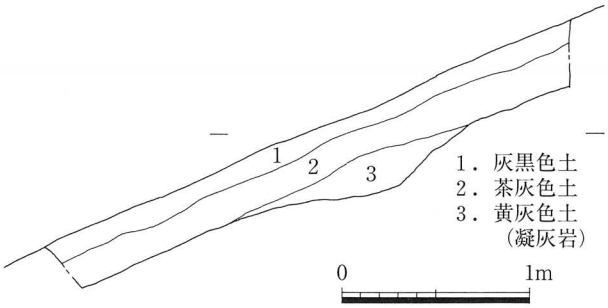


図30　Ｂ区北壁土層略図

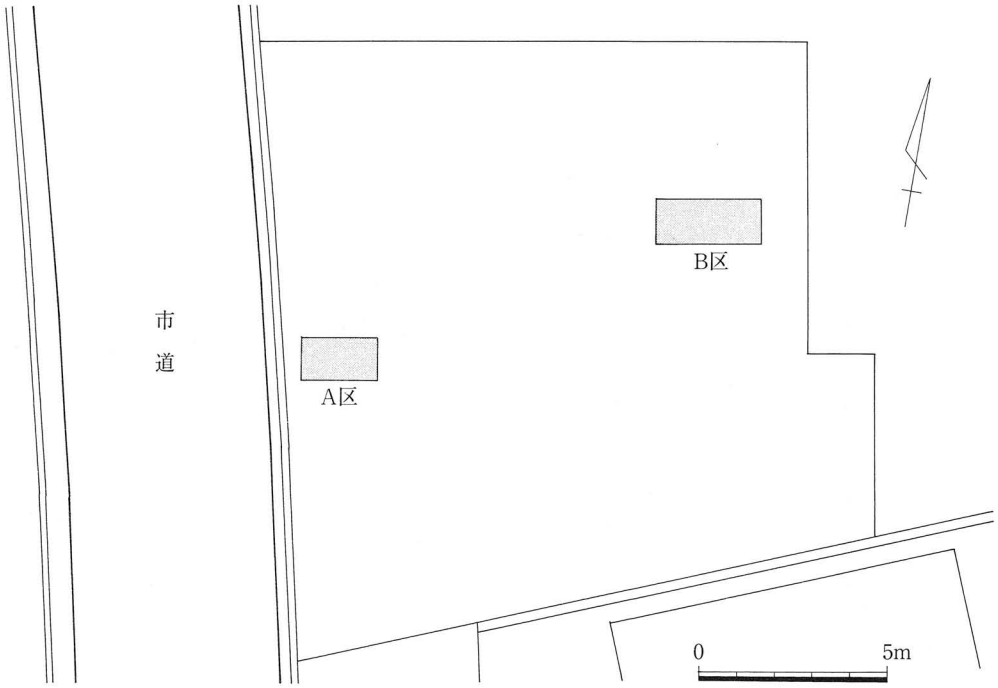


図31　調査区位置図

2003－5次調査

・調査対象地　　柏原市片山町51-10

・調査期間　　平成15（2003）年12月16日

・調査面積　　2.30㎡／390.76㎡

・調査担当者　　桑野一幸

調査地は平坦地で、現在は駐車場として利用されている。その南西隅に1.5m四方の調査区を設定した。

調査は建物の基礎深度に相当する地表下50cmまで掘削したが、全て現代の盛土であった。

調査地から東に50m離れて原川が北流しているが、その左岸の土手は石積みとコンクリートによって2段に護岸されている。しかし以前（昭和40年頃まで？）の土手の高さは下段までだったといわれ、その後住宅開発に伴って現在の高さまで嵩上げされたらしい。原川左岸に位置する調査地も、当時の宅地造成の際にかなりの盛土が行われて整地されたものと思われる。

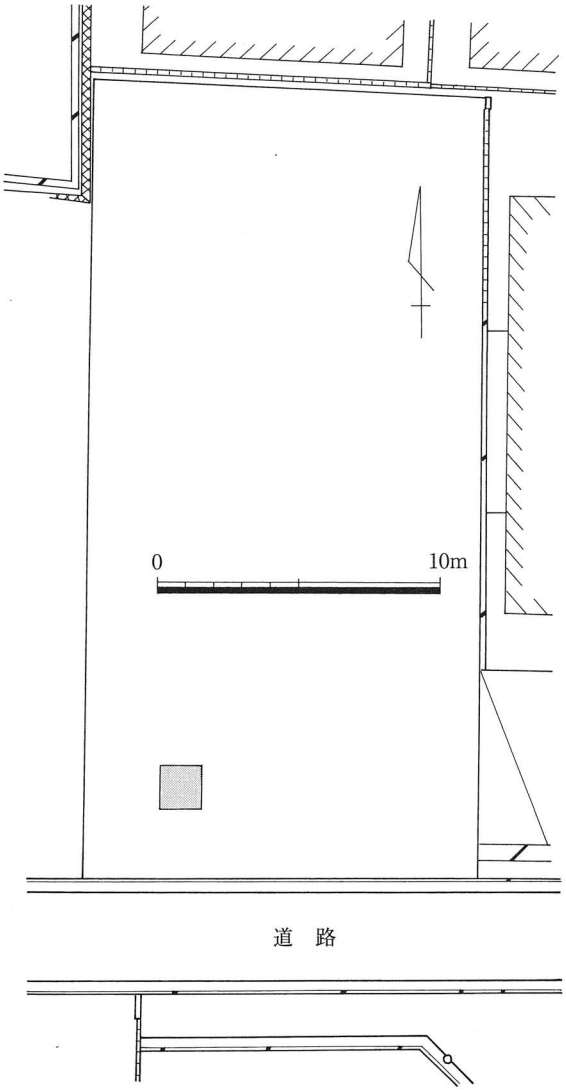


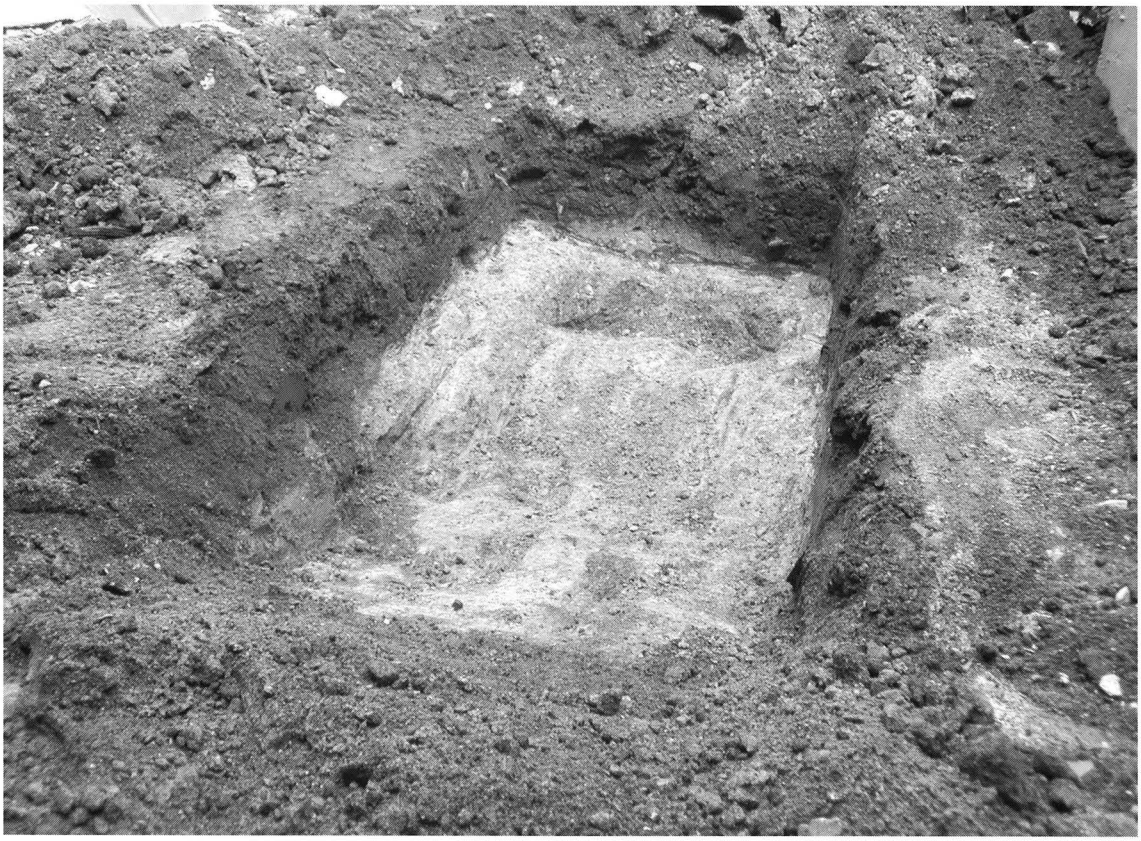
図32　調査区位置図

図　　版

図版１　平野遺跡2003-１次調査　調査地

図版２　平野遺跡2003-１次調査　調査区土層（北）

図版３　平野遺跡2003-２次調査　調査地（北から）



図版４　平野遺跡2003-２次調査（東から）

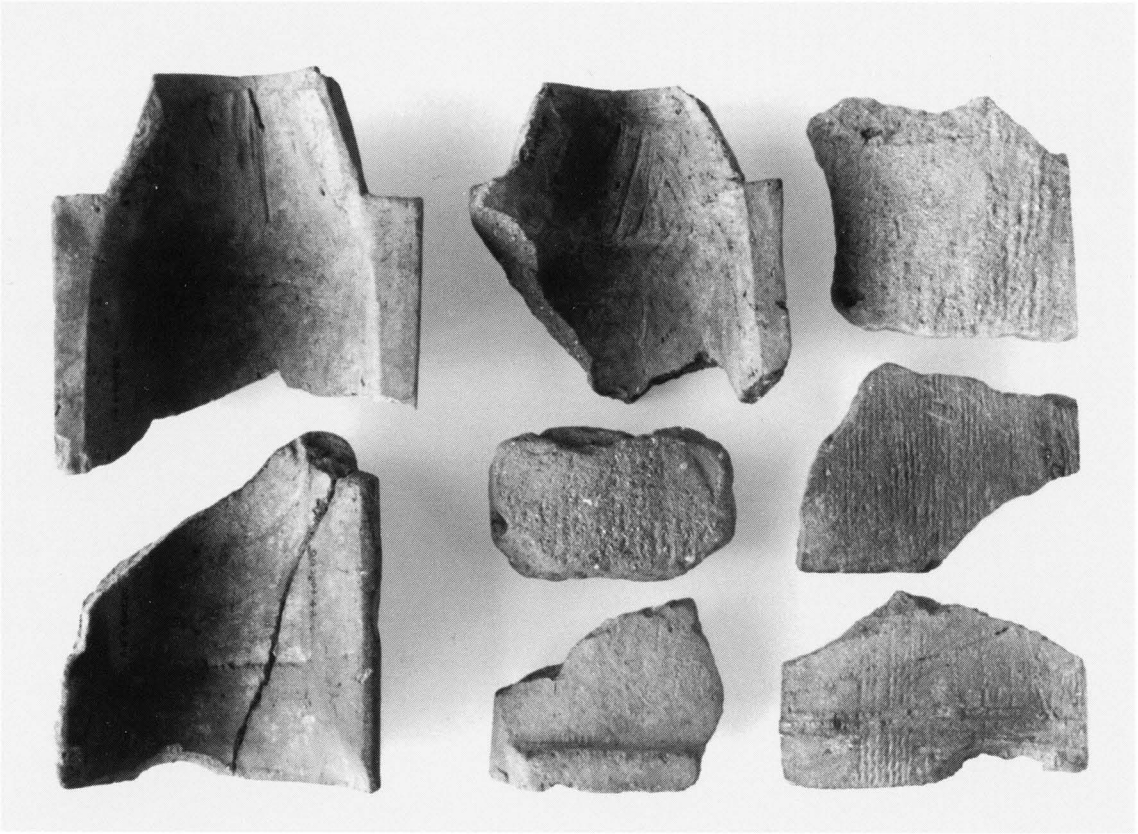
図版５　大県遺跡2003-１次調査　調査地（北から）

図版６　大県遺跡2003-１次調査　調査区（北から）

図版７　大県遺跡2003-４次調査　調査地

図版８　大県遺跡2003-４次調査　調査区土層（南）

図版９　大県遺跡2003-４次調査　軒平瓦（中央下段）、丸瓦、平瓦　表面



図版10　大県遺跡2003-４次調査　同上裏面

図版11　大県南遺跡2003-１次調査　調査地（西から）

図版12　大県南遺跡2003-１次調査　調査区（西から）

図版13　安堂遺跡2003-３次調査　調査地（北から）

図版14　安堂遺跡2003-３次調査　調査区（北から）

図版15　安堂遺跡2003-４次調査　調査区土層（南）

図版16　安堂遺跡2003-４次調査　調査区土層（東）

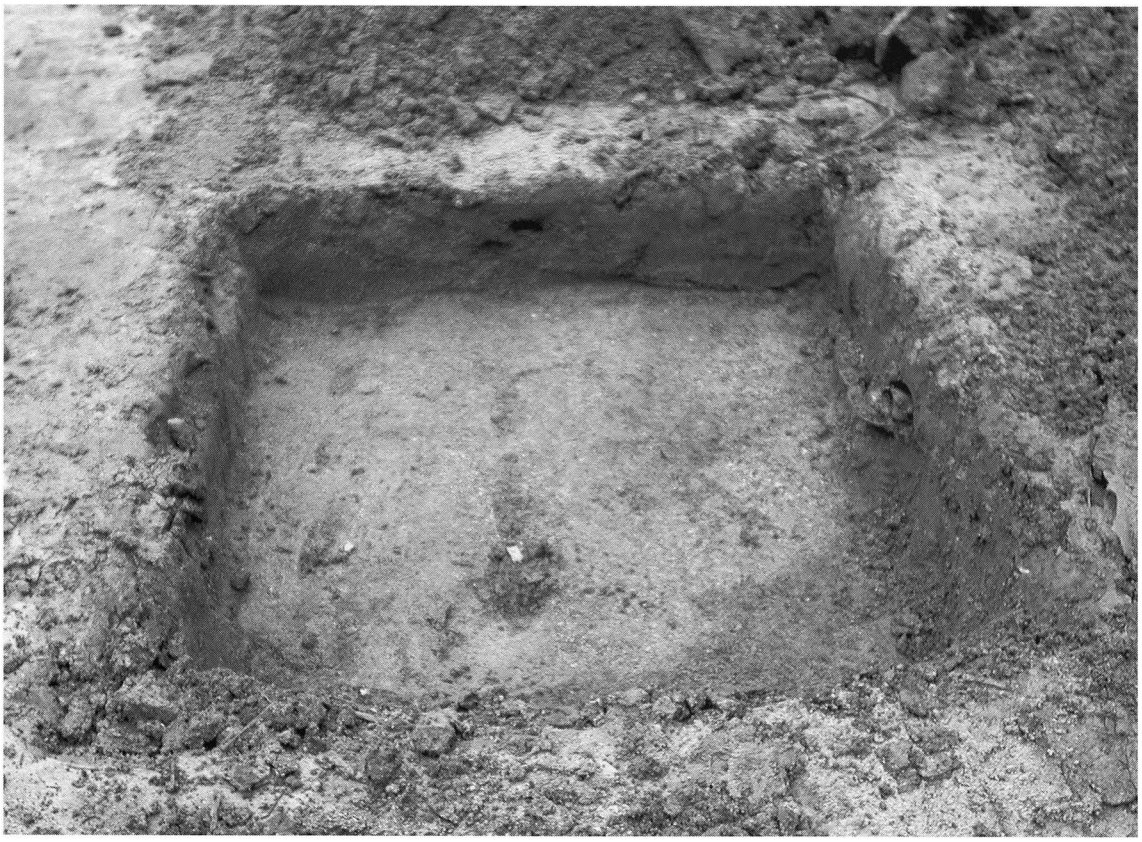
図版17　高井田遺跡2003-１次調査　調査地（南から）

図版18　高井田遺跡2003-１次調査　調査区（東から）

図版19　田辺遺跡2003-１次調査　調査地（北から）

図版20　田辺遺跡2003-１次調査　調査区（北から）

図版21　田辺遺跡2003-２次調査　調査地（西から）



図版22　田辺遺跡2003-２次調査　調査区（西から）

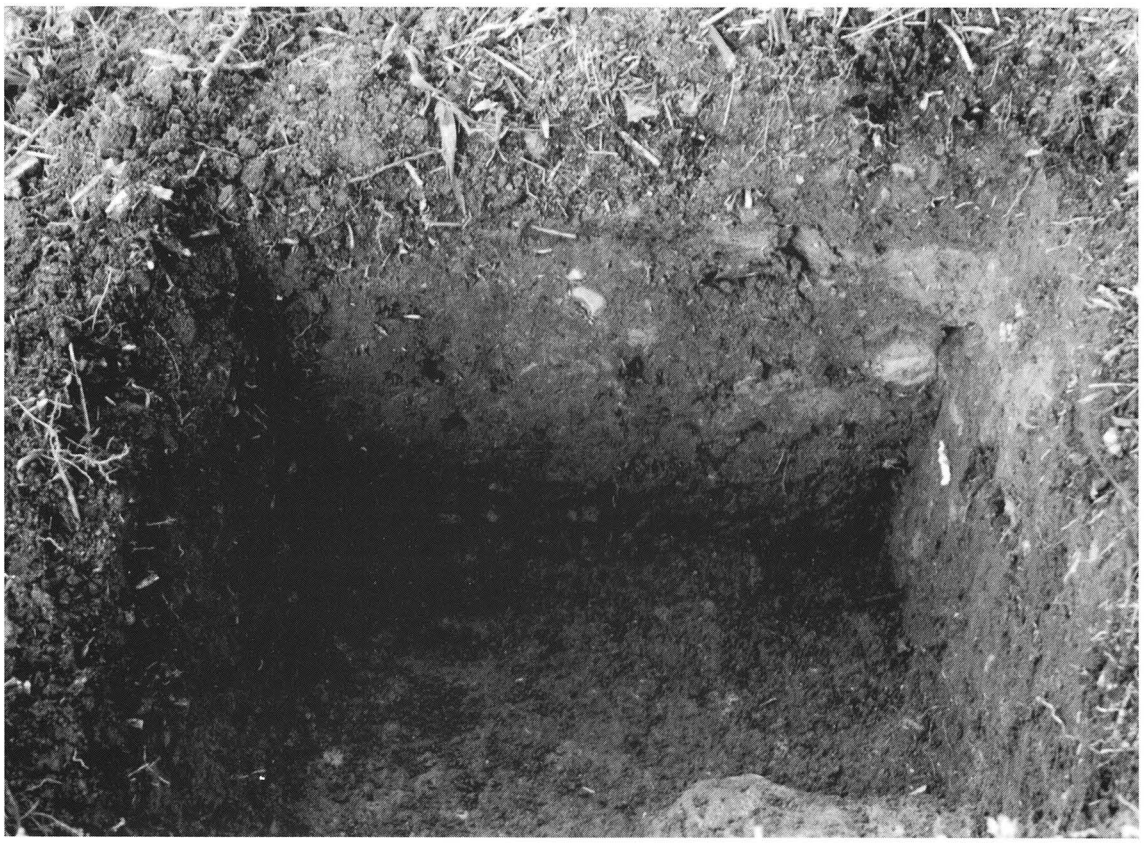
図版23　玉手山遺跡2003-１次調査　調査地（北から）

図版24　玉手山遺跡2003-１次調査　調査区（西から）

図版25　玉手山遺跡2003-２次調査　調査地

図版26　玉手山遺跡2003-２次調査　Ａ区土層（西）

図版27　玉手山遺跡2003-３次調査、2003-４次調査　調査地

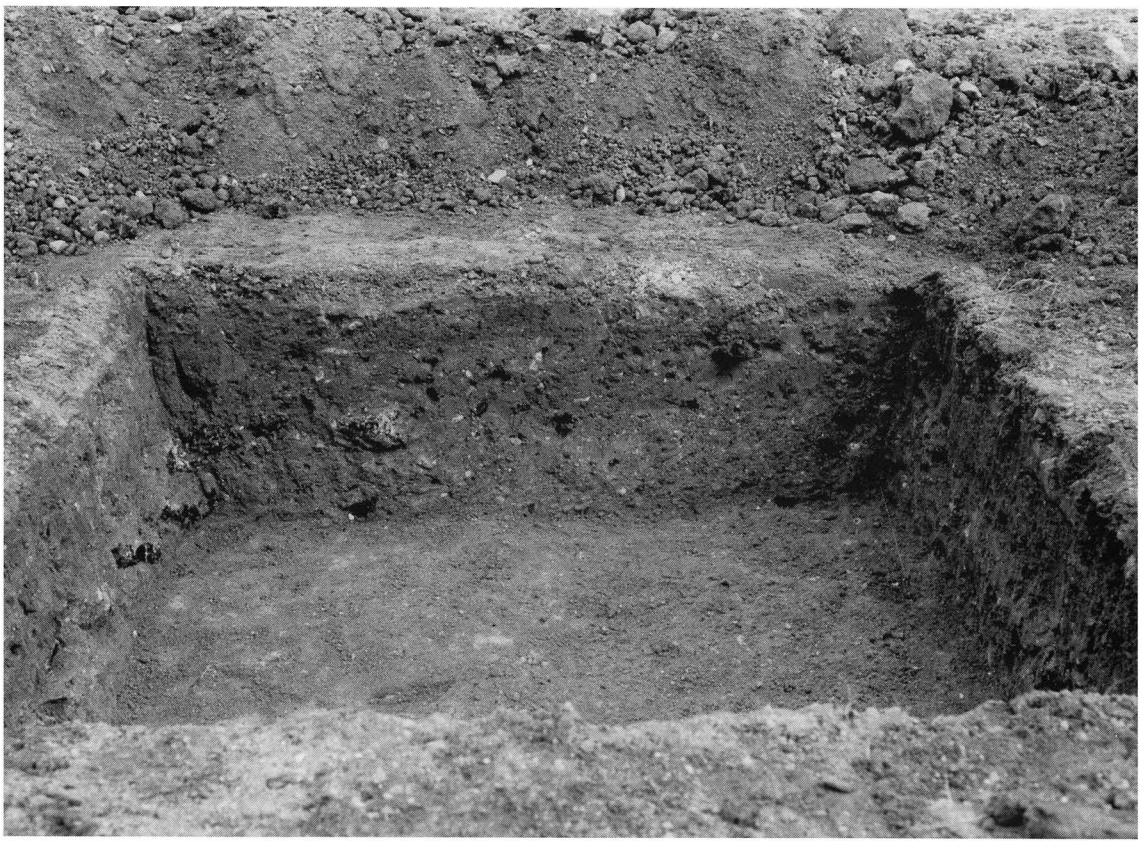


図版28　玉手山遺跡2003-３次調査　Ｂ区土層（北）

図版29　玉手山遺跡2003-３次調査　Ｃ区

図版30　玉手山遺跡2003-４次調査　Ｂ区

図版31　玉手山遺跡2003-５次調査　調査地



図版32　玉手山遺跡2003-５次調査　調査区土層（北）

報告書抄録

ふりがな	かしわらしまいぞうぶんかざいはっくつちょうさがいほう
書名	柏原市埋蔵文化財発掘調査概報　平成15（2003）年度
副書名	
巻次	
シリーズ名	柏原市文化財概報
シリーズ番号	2003-Ⅰ
編著者名	桑野一幸、石田成年
編集機関	柏原市教育委員会
所在地	〒582-8555　大阪府柏原市安堂町1-43　　電話0729-72-1501
発行年月日	平成16（2004）年3月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積 （㎡）	調査原因
ひらの 平野	ひらの 平野2丁目	27221	HN 2003-1	34°35′35″	135°38′04″	H15.6.9 H15.6.9	1.00	分譲住宅
	ひらの 平野2丁目	27221	HN 2003-2	34°35′33″	135°38′06″	H15.8.21 H15.8.21	1.20	個人住宅
おおがた 大県	ひらの 平野1丁目	27221	OG 2003-1	34°35′21″	135°38′00″	H15.3.31 H15.3.31	1.44	個人住宅
	ひらの 平野2丁目	27221	OG 2003-4	34°35′27″	135°38′09″	H15.9.5 H15.9.5	2.25	個人住宅
おおがたみなみ 大県南	おおがた 大県4丁目	27221	OGM 2003-1	34°35′07″	135°38′03″	H15.2.6 H15.2.6	2.34	事務所付住宅
あんどう 安堂	あんどうちょう 安堂町	27221	AD 2003-3	34°34′41″	135°38′02″	H15.5.13 H15.5.13	0.90	個人住宅
	あんどうちょう 安堂町	27221	AD 2003-4	34°34′29″	135°38′01″	H15.9.19 H15.9.19	2.00	分譲住宅
たかいだ 高井田	あんどうちょう 安堂町	27221	TKD 2003-1	34°34′26″	135°38′05″	H15.2.3 H15.2.3	2.50	個人住宅
たなべ 田辺	たなべ 田辺1丁目	27221	TB 2003-1	34°33′27″	135°38′35″	H15.1.29 H15.1.29	3.00	個人住宅
	こくぶほんまち 国分本町6丁目	27221	TB 2003-1	34°33′47″	135°38′35″	H15.2.12 H15.2.12	2.44	個人住宅
たまてやま 玉手山	たまてちょう 玉手町	27221	TY 2003-1	34°33′40″	135°37′57″	H15.3.10 H15.3.10	3.25	個人住宅
	あさひがおか 旭ヶ丘1丁目	27221	TY 2003-2	34°33′32″	135°38′02″	H15.10.2 H15.10.2	4.50	宅地造成
	たまてちょう 玉手町	27221	TY 2003-3	34°33′50″	135°37′57″	H15.12.11 H15.12.11	6.00	宅地造成
	たまてちょう 玉手町	27221	TY 2003-4	34°33′50″	135°37′57″	H15.12.12 H15.12.12	5.00	宅地造成
	かたやまちょう 片山町	27221	TY 2003-5	34°33′53″	135°38′09″	H15.12.16 H15.12.16	2.30	共同住宅

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
平野	集落	古墳ー近世	なし	須恵器、土師器	
	集落		なし	なし	
大県	集落		なし	なし	
	集落	古墳ー近世	なし	瓦、須恵器、青磁	
大県南	集落		なし	なし	
安堂	集落		なし	なし	
	集落	古墳ー近世	なし	土師器	
高井田	集落	古墳ー近世	なし	須恵器、土師器	
田辺	集落		なし	なし	
	集落		なし	なし	
玉手山	集落		なし	なし	
	集落		なし	なし	
	集落		なし	なし	
	集落	古墳ー近世	なし	須恵器	
	集落		なし	なし	

柏原市埋蔵文化財発掘調査概報

平成15（2003）年度

発　行：柏原市教育委員会
　　大阪府柏原市安堂町１-43
発行日：平成16（2004）年３月31日
印　刷：中島弘文堂印刷所